

topic
1

GOOD DESIGN AWARD 2013

大学院 篠原研究室が参画したプロジェクトが受賞!



日本女子大学大学院 篠原研究室がデザイナーとして参画したプロジェクトが、2013年 GOOD DESIGN AWARD を受賞しました。

受賞した「プラウドシティ浦和」は、約2.2haに及ぶ地域の開発で、既存の樹木に加えその土地に適した樹木2万4千本を植樹し、敷地の東西に通る並木道を中心に、6棟の集合住宅、2棟のコミュニティ施設、2つの公園と3つの広場を配置した、緑豊かな街なみとなっています。居住者と地域の人々が自然と集まり、コミュニティが成熟していくよう設計されました。

公共施設の整備をともなった集合住宅群

[プラウドシティ浦和

2万4千本の緑がうるおう次世代につなぐ街]

受賞企業：野村不動産株式会社

受賞番号：13G090850

GOOD DESIGN AWARD ホームページ：<http://www.g-mark.org/>
(上記 HP で受賞番号を検索すると詳細がご覧いただけます)



2013年 日本建築学会設計競技で住居学科の学生が受賞!

topic
2

日本建築学会が主催する設計競技において、住居学科学生2グループがタジマ奨励賞を受賞しました。今回は「新しい建築は境界を乗り越えようとするところに現象する」という課題が与えられました。

タジマ奨励賞 受賞の2作品



「放課後の運河」

建築デザイン専攻 4年 (篠原研究室)

鈴木 あいねさん 守屋 佳代さん
suzuki aine moriya kayo

「歩こさ飯山。一雁木でつながれた街」

建築デザイン専攻 4年 (篠原研究室)

川上 咲久也さん 村越 万里子さん
kawakami sakuya murakoshi mariko



台湾ハウジングワークショップが行われました

期 間：8月18日 - 8月31日の2週間
 参加者：4カ国・11大学から学生 約100名
 (住居学科学生は29名参加)
 淡江大学 Kuang-Chein Bee 准教授と住居学科 篠原聡子教授が
 中心となって、毎年開催されています。



今年で8回目となる台湾淡江大学建築学科との毎年夏に行われるハウジングワークショップ。台北、東京と開催地を交互に変え、現地の学生と共に共同設計をしながら国際交流をはかります。

今回は開催地、参加学生数、ワークショップの内容が従来と大きく異なる、規模の大きいものとなりました。台湾の地方 雲林に、現地の学生、他国の学生と共に2週間滞在し、共同設計を行います。本学、台湾淡江大学の他に台湾から4校、中国4校、アメリカ1校から参加がありました。今回のWSのテーマは、”Natural Rural Housing”。地方、自然の中で、どう生活するか、が大きなテーマです。

学生は10班に分かれ、班ごとに、高齢者や再生、ロングステイなど小テーマが与えられ、新しいライフスタイルを建築的観点から提案しました。



設計作業中



講評会



参加学生とスケジュール

8/18	台湾到着
8/19~	設計作業(21日・24日に中間講評)
8/28	最終講評
8/29~8/31	エクスカージョン(小旅行) ... 台北・九份
8/31	帰国



● エクスカージョン



九份見学



● 最終日 参加学生みんなで

台湾ハウジングワークショップに参加して…

今年で3回目の参加となるワークショップでしたが、参加する度に、設計スキルはもとよりさまざまな面から自分が成長していることがわかります。

たくさんの学生と共同でデザインを完成させるにあたり、自分のアイデアや意見を、はっきり、分かりやすく、魅力的に伝えることが必須です。様々な国から学生が集まり、考え方の違いに戸惑う中、英語で話し合うことに最初は慣れずにはいましたが、自分の考えを分かってもらえ方を模索していくうちに、クリアな表現方法、そして相手の考えも互いに尊重し合うことが身に付いたと思います。

大学院 修士1年 (篠原研究室)
 白岩 ひかり